

編集

三好市役所総務部秘書広報課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

http://www.city-miyoshi.jp/



QRコードからアクセス

□ 編集後記

あいにくの雨となりましたが、初めて夜開催も行われたうだつマルシェ。回を重ねるごとにマルシェの灯が明々と輝いている姿を実感。立ち寄ったカブトムシ&クワガタ展では、子どもの頃よく新池近くの山にクワガタ採りに行った思い出が甦りました。今年の夏はできませんでしたが、来年こそは子どもたちに自然の中で自ら捕まえる喜びを体験させてあげたいと心に誓った夏でした。(近)

猛暑の8月から少し暑さも落ち着き、秋の気配を感じるようになりました。今月の表紙は「いけだ阿波おどり」で行われた観光連4連による総踊りです。大人数の鳴りものと所狭しと栈敷を乱舞していく踊り子たち、観客の方も立ち上がって拍手をおくり会場の盛り上がりは最高潮に達しました。初めて見る迫力ある光景は、暑い夏の思い出として、とても印象に残りました。(長)

三好市探訪



90
歩
目



江口渡し跡

— 三好市三野町芝生 —

三野にはかつて4つの渡し場がありましたが、江口渡しは三野町芝生と東みよし町中庄（江口）を結ぶ渡しでした。

江口渡しは、宝暦6年（1756）芝生村の豪商清水屋善之丞が開設したのが始まりと伝えられており、県西部から最短距離で讃岐の金毘羅街道に通じる広域的な役割を担った重要な渡しでした。

大正3年に徳島と池田間が鉄道で結ばれ江口駅が開業すると、貨物の渡しも始まりました。その後、渡し場を下流から現在の渡し場跡に移しました。大正12年に県営渡しになり、荷馬車専用道路が拡張整備され、荷馬車専用渡船（棚船）も就航しました。

昭和30年、江口潜水橋の完成により約200年におよぶ渡しの歴史に幕を閉じました。現在は、昭和45年に東三好橋が開通したことで江口潜水橋も姿を消し、渡しのあった当時をしのぶ石碑が堤防沿いに建っています。